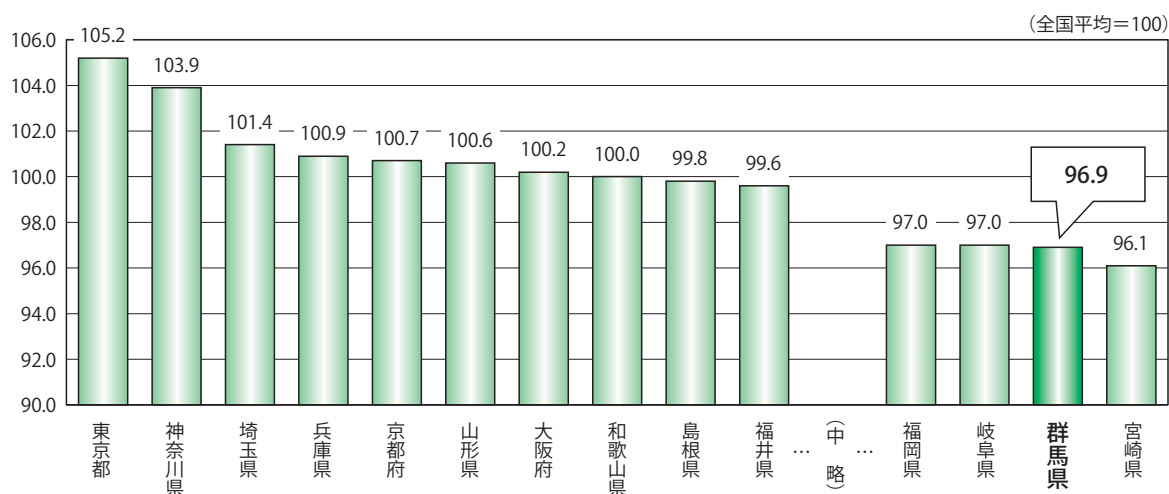


全国で2番目に低い群馬県の物価水準

～最も低いのは宮崎県、最も高いのは東京都～

- 総務省が実施した2013年の「小売物価統計調査（構造編）」によると、全国平均を100とした群馬県の消費者物価の水準は96.9であった（図表1）。都道府県別にみると、群馬県は宮崎県に次ぎ全国で2番目に低い。
- 費目別の内訳でみると、「被服及び履物」「保健医療」では全国平均を上回ったが、そのほかの「住居」「教養娯楽」「食料」などで下回った（図表2）。
- こうした背景には、家賃の低さに加え、「教養娯楽」の費目に含まれる映像・音響機器を取り扱う家電量販店や、「食料」に含まれる生鮮食品・加工食品・飲料を取り扱う大型スーパーなどによる価格競争があるものと考えられる。

図表1 都道府県別にみた消費者物価



図表2 費目別にみた消費者物価

費目	群馬県	参考) 東京都
被服及び履物	105.2	100.7
保健医療	102.1	101.2
諸雑費	99.9	98.5
食料	98.1	103.9
交通・通信	98.0	103.6
家具・家事用品	97.1	104.3
教養娯楽	95.2	104.5
光熱・水道	93.6	98.6
教育	90.8	112.3
住居	87.2	132.8

【一口メモ】

本稿で使用したデータは「小売物価統計調査（構造編）」による。地域別の価格差などを把握することを目的として、新設された調査であり、2014年12月に初めて2013年の結果が公表された。構造編の開始にともない、従来の小売物価統計調査は、「動向編」と名称変更された。

(担当：樹下芳久)